

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



鳥のこゑ雲の行くさま水のいろ
見れどもあかぬまし天地

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作 金竜海鉢泉引出盃 「琉の玉」

波の上土+波の上宮砂+金竜海土/金竜海鉢泉(琉球松+沖繩ガジュマル+沖繩ユウナ灰+沖繩ヤシ)釉+玉水+金明水+龍宮神社水+金竜水+竜宮海海水+瑞泉樋龍水+富士湧玉水

「そらに知ろしめす」

福島主会長 佐藤 良弘

空を見上げることが好きで、エンジン音が聞こえると思わず空を見上げてしまいます。見上げた空にヘリコプターの時もあれば、のんびりした音のモーターグライダーの時もたまにあります。

晩秋から初冬の朝にはコウコウと鳴きながら、数羽の白鳥が逆V字形で低く東から西へ飛ぶ姿を見かけます。白鳥たちは、阿武隈川から更に西の猪苗代湖へ越冬に向かっていたのでしよう。

四季の在る国に生まれさせていたただいたおかげで、春はおぼろ雲、夏は輪郭鋭い入道雲、晩夏から初秋は夏雲と同居する絹雲、冬は雪が落ちてきそうな冬雲と、様々な雲を見ることが出来ます。

日の入り二時間前位からの空が好きです。横からの光で雲は白さを増して輝き、やがて夕焼けで朱に染まり、東の空に雲があると、夕焼けの光が雲に反射して東の空も薄紅に染まり、何とも美しいものです。

なぜ私たちは、この自然現象を美しいと感じるのでしょうか。空や海の青、紅葉の紅や黄、新緑の青葉等々、人それぞれ好みはあると思いますが、自然を見て何も感じないという方はいないでしょう。

それは自然を見、美しいと感じるのは、美しいと感じる魂を授かっているからだと思います。美しさを感じとれるから、見聞きするものが現し世の楽しみや生きる喜びともなり、世界は人知の到底及ばぬ存在により成り立っていると感じられます。

神さまはあらゆる所にいらっしゃいます。空を見上げると、英国の詩人が詠ったように「神、そらに知ろしめす」と言いたくなる気持ちがわかるような気がします。



12月の月次祭を執行

12月の東光苑月次祭・市杵島姫命例祭は、12月8日午前10時30分から、齋主・椎野恭三祭務課長のもと執行され、200人が参拝したII写真下。祭員は各主会青年部ほか青松会が、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は青年部を代表して大久保照子さんが担当。東光庵では、添釜がかけられ、茨城主会が担当した。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつを行った。

また、1階ロビーでは直心会千葉連合会による日用品バザー、農事組合法人大本が収穫した「チカラ野菜」の販売が、祭典後には、2階ラウンジで樽酒のお下がりが振る舞われた。



献饌



『大本神諭』拝読



玉串捧奠



東光苑オンライン講座

2月25日(火) 19:00～

出口王仁三郎が示す「みろくの世」

講師：中里 洋 (亀岡宣教センターメディア愛善宣教課長)



生きとし生けるものが喜び勇んで暮らす地上天国「みろくのよ」。その実現のために、王仁三郎が提唱した「天産物自給経済」とは？

自然と共生し、持続可能な社会を築くヒントに触れてみませんか。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

自己を見つめる集いを開催

自己を見つめる集い(鎮魂と浄書)が11月23日午後1時30分から大本東京本部を会場に開催され、一般参加者7人を含む11人が参加した。

参加者は、神前礼拝後、鎮魂の姿勢や心得について解説を受け、その後『信仰覚書』の拝読を聞きながら、鎮魂の姿勢に入り、40分間鎮魂した。続く浄書では、解説を聞いた後、墨を

すり、毛筆で『おほもとしんゆ』を40分間浄書した。研修会終了後、参加者は薄茶の接待を受けた。



東光苑大道場修行

日程 2月22日(土) 午前9時(受付)～2月24日(月) 正午ごろ

会場 大本東京本部・東光苑

内容 大道場修行初日の「大本の出現」～4日目の「大本の使命」までの講座を実施(梅松苑で5日目の講座を受講すると、全日程が修了)

参加費 4,500円(宿泊・食費を含む)
※「修行のしおり」(1,000円)をお持ちでない方は、別途ご購入頂きます

定員 20人(定員に達し次第、締め切り)
※宿泊は相部屋となります
分割での受講も可能です

申込 氏名、所属、食事、「修行のしおり」の要否を明記の上、下記までお申し込みください(担当：愛善宣教課・西山)
Email: k-nishiyama@oomoto.or.jp
Tel: 03-3821-3701 / FAX: 03-3821-5283

締切 2月14日(金)

2月 東光苑祭典・行事予定

2日(日) 午後6時30分

開教133年 節分大祭遙拝祭
二代教主・四代教主聖誕祭

9日(日) 午前10時30分

東光苑月次祭・豊年祈願祭
市杵島姫命例大祭・合格祈願祭(午後2時)

22日(土) 午後7時

東光苑大道場修行

25日(火) 午後7時

東光苑オンライン講座(配信)

講師 出口王仁三郎が示す「みろくの世」
講師 中里 洋(亀岡宣教センターメディア愛善宣教課長)